

4章. 地域全体の将来像

1. 地域全体のまちづくりの理念と将来像

月館地域全体のまちづくりの理念と将来像は、月館地域振興基本構想で示されている内容に即するものとし、まちづくりの基本姿勢を踏まえつつ、以下に示すとおりとする。

<まちづくりへの基本姿勢（月館まちづくり協議会より）>

- ・わが町、地域を愛すること
- ・地域の資源を大切にし、活かすこと
- ・できることから、夢をもって！
- ・小さいことでも気持ちを込めてやれば必ず生きてくる
- ・他所から学ぶことはあっても真似では成功しないこと
- ・中長期的な視点で続けるということ（続けること）
- ・自分たちでやらなければという自覚とみんなで協力し合うこと
- ・地域の人材を活用し、育てること



■まちづくりの理念

1. 環境の変化を乗り越える
2. 子どもからお年寄りまで安心して暮らせる
3. 「誇り」・「愛着」・「希望」がもてる新しい月館を創る



■月館地域全体の将来像

～花と緑 笑顔 やすらぎの郷～

『出会いと交流 健幸でやさしいまち つきだて』

2. 地域全体のまちづくりの方向性

月館地域全体のまちづくりの方向性は、月館地域振興基本構想の内容を踏まえつつ、以下に示すとおりとする。この7つの活力の方向性を勘案しながらまちづくりの戦略を検討するものである。

■月館地域全体の活性化の方向性

1. 中心市街地の魅力・活力づくり

バイパス道路の整備による旧国道の道路空間を活かして、「車から人にやさしい通り」への転換を図り、住民の暮らしを支える便利な商店街の再生を目指す。

2. 交流人口の呼び込み

花工房との連携による観光客の滞在性と回遊性を高めるとともに、うまいもや特産品の開発、中心市街地の魅力アップを図るとともに来街者の立ち寄り拠点の整備を図る。

3. 安全・安心な暮らしの実現

高齢者の暮らしの支援と子どもたちの安全・安心な居場所づくりにより安全・安心な暮らしの実現を目指す。

4. 人づくりと人材の活用

地域の担い手を地域で育み、経験豊富な高齢者の力をまちづくりに活かす取り組みを推進する。

5. 郷土愛と歴史・文化を育む

月館に残る多くの遺跡や文化財、伝統行事、祭りの保全と継承に努めるとともに、中心市街地を舞台に祭りやイベントを盛り立てて、地域内外から多くの人を呼び込むために活用していく。

6. 知恵と工夫による里山産業起こし

高齢者の生きがいにつなげる露地型農業や、若者の感性とアイデアを生かした里山の暮らしと加工品づくり、循環型の持続可能な生活スタイルなどの新しい発想にもとづく産業起こしや豊かな暮らしの実現を目指す。

7. 地域農産物を活用した「食と交流の場」の創出

食材としての地域農産物の活用、加工品や土産品の開発と販売、雇用の創出、クラインガルテン事業と連携する体験型農業の展開により地域活性化の新たな拠点づくりを推進する。